

天皇皇后両陛下におかれましては、令和の御代となり二年、大きく様変わりしました日常においても、常に国民の心に寄り添つてくださること、篤く御礼申し上げます。

さて、この度、鳥取県神道青年会会長の任を拝命しました、鳥取県中部に位置する琴浦町は照國神社禰宜の福田靖と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

神社や神道について本当に勉強不足であり、平日は教

職員との兼職であるため、日々の御祈祷についても準備は宮司に任せきり、御祈祷だけを執り行う…という現状の私が県の会長を務めて良いのが、というのが正直な気持ちであります。しかしながら、私と同じような立場で神明奉仕をしている会員も多いことでしょう。鳥取県の若手神職、専職・兼職関係なく、各々の立場を伝え思いやりながら、出来ることを出来る範囲で取り組み、積み重ねていくことをを目指し、会長の任を全うしたいと考えています。

私は、神社を「心を落ちさせ、自分をリセット・リスタートさせる場所」だと考えていて、「コロナ禍において、「ウイルスよりも人間の思考や言動の方が怖い」という報道を目にしました。確かに、未知のウイルスにより、人間の禍々しい部分が透けて見え、日本ののみならず世界中が不安や奇立ちは抱えています。人間の生活の根幹は「安心」「平穏」という心理的安定なのだな、と実感しました。だからこそ、手を合わせ祈ることが、

## 新会長 あいさつ

鳥取県神道青年会  
会長 福田 靖



# 鳥取神青通信

## 第20号

発行元  
鳥取県神道青年会  
編集  
鳥取県神道青年会  
広報部

繋がり、心理的安定をもたらすのではないでしょうか。  
一人でも多くの氏子崇敬者・参拝者に、神社で「ほつ」とした気持ち「キリツ」とした気持ちになつていただきたい。そして、そこには神職の思いや言動、はたらきかけが絶対に必要です。そのためには、若手の神職同士での研鑽やアイデアの共有が必ずや有益となること

## 前会長 あいさつ



先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌と皆様方の御多幸を心よりご祈念申し上げます。

この度、鳥取県神道青年会の会長としての二年の任期を終え、職を退任させて頂くことになりました。折しも、任期中は、第五十二回中国地区氏子青年神道青年合同研修会の主管県として、県内関係者各位には多大なるご高配を賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

さて、この二年間を振り返りますと、まず思い起こそ、手を合わせ祈ることが、

# 鳥取神青通信

令和3年8月15日 (2)

第20号

されますのが御代替りです。奉祝の赤誠を捧げる式典並びに行事が日本国内各地で執り行われ、国民挙つて祝賀ムードに包まれました。「天皇陛下御即位をお祝いする国民祭典」では、現地でご奉仕させて頂き、「天皇陛下御即位奉祝の集い・鳥取大会」では、会長として宣言文を読み上げさせて頂きましたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。

就任二年目を迎える頃、新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中が大きく変わりました。各神社の護持運営にも多大な影響が及ぶ中、当会においては総会が初の書面決議となりました。会議はオンラインシステムを利用せざるを得ず、以前のように顔をあわせての協議が出来ない状況となつた一方、参加が容易となつた。

ことで、参加者が増加するというメリットもありました。私達は、時代に即して新しいものを取り入れつつも、受け継がれてきたものを次の世代に繋げていかなければなりません。そして神主の本分は神様への「祈り」と「祭り」の斎行であることを忘れず、神社が氏子の皆様の「心の拠りどころ」となる様に努め、神社から地域、社会への貢献に繋がるような活動を今後も行っていきたいと思います。

最後に、会員は元より、先輩諸兄を始め、鳥取縣神社廳及び各神社・宮司様方の格別なる御支援御協力を戴きまして会務が遂行できましたことを衷心より篤く感謝申し上げ、会長退任の挨拶と致します。

## 令和元年度 活動記録

八月二十四日

五月九日

●定例総会  
十三名・ホテルモナーク鳥取

●第八回氏青神青実行委員会  
五名・鎮靈神社

●第九回氏青神青実行委員会  
七名・鎮靈神社

●六月七日  
六月十六日

●六月二十三日  
八月三十日

●六月二十九日  
十月三日

●十一月四日  
十二月二十一日

●六月二十二日～二十三日  
二十三名・ブランナール三朝他

●六月二十二日  
二月二十三日

●七月四日  
●第一回理事会  
八名・大元神社

●八月二日  
●第五十二回氏青神青合同研修会  
二十三名・ブランナール三朝他

●八月二十四日  
●祭式研修会  
神社廳神殿等清掃奉仕  
十三名・神社廳

●九月二十一日  
●第二回役員会兼研修会  
九名・照國神社

●八月二十二日  
●天長祭  
十三名・神社廳

●五名・ブランナール三朝  
神社廳教化部研修会参加  
三名・神社廳

## 令和二年度 活動記録

八月二十四日

●天下大祓 斎場清掃・準備  
四名・瀧山神社境内

●新型コロナウイルス感染症  
早期終息祈願祭  
多数名・県内各所

●五月六日  
六月二十九日

●十月三日  
十一月四日

●六月二十二日  
八月二十四日

●十二月二十一日  
一〇名・神社廳

●十一月十四日  
十二月十二日

●六月二十二日～二十三日  
二十三名・ブランナール三朝他

●七月四日  
●天皇陛下御大典奉祝の集い参加  
四名・ホテルニューオータニ鳥取

●八月二日  
●祭式研修会  
神社廳神殿等清掃奉仕  
十三名・神社廳

●九月二十一日  
●第一回理事会  
十一名・WEB会議

●一月三十日  
●第二回理事会  
十一名・WEB会議

●二月二十三日  
●第三回理事会  
十一名・WEB会議

●三月二十一日  
●第四回理事会  
十名・WEB会議

●四月二十一日  
●第五回理事会  
十一名・WEB会議

●五月二十一日  
●祭式研修会  
神社廳神殿等清掃奉仕  
十名・神社廳

## ●天長祭

十名・神社廳

## ●第六回理事会

十名・神社廳

三月三日

## ●神社廳神殿祭奉仕

三名・神社廳

四月十三日

## ●第七回理事会

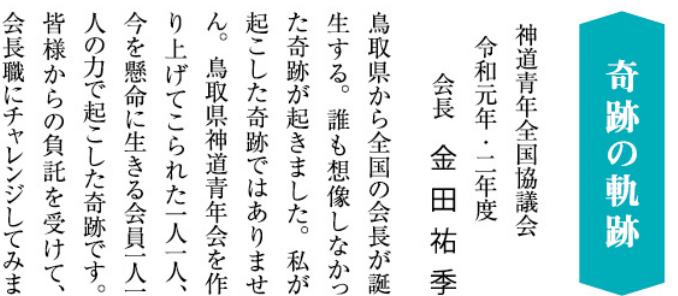
十名・WEB会議

右の他に

## ●神青協主催事業

中国五県青年神職協議会主催事業

等へ県内会員が参加しました。



## 奇跡の軌跡

神道青年全国協議会  
令和元年・二年度

会長 金田祐季

鳥取県から全国の会長が誕生する。誰も想像しなかつた奇跡が起きました。私が

意味します。

理想の神社界をと意気込んだものの、百戦錬磨、海

千山千の魑魅魍魎と向き合

い続けた二年間。日々神経をすり減らしながら、気付ければ退任の日となっていました。力不足であった。正直な気持ちです。

鳥取一人目の会長が誕生する日。奇跡ではないその時に、全力でお支えし、この任期で為し得なかつたことの罪滅ぼしができたなら。そんな日が来ることを願っています。

した。結果はどうでしょう。田舎神主の気持ちが伝わる神社界に近づいたのでしょうか。限られた環境の神主ですか。限られた環境の神主ですか。限られた環境の神主ですか。

神宮啓発委員会  
を終えて神青協 令和元年・二年度  
神宮啓発委員

米原尊信



私はこの度、神道青年全国協議会の神宮啓発委員会へ出向させていただきました。その名の通り、世の中へ神宮を啓発するための委員会であり、各地区からの出向者に加え、神宮へ奉職されている二名の委員が配属される特別な委員会であり、その二名の方のお話を伺うことは何にも代えがたまるよい機会となりました。

肝心の事業の方は、「巫女のための神宮研修会」を行った予定で準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりやむを得ず中止となり、全国の会員へ向けて「神宮啓発活動意識調査」を実施したのみとなってしまいました。思うように事が運ばなかつたこともございましたが、これもよい経験となりました。



この度全国から出向した私を含む神宮啓発委員が、いち神宮ファンとなつてそれぞの地域で率先して神宮啓発に取り組む人材となることがこの委員会が設立された目的の一つだと感じております。このような貴重な機会を頂きましたことに對して感謝の気持ちを忘れず、より一層神宮啓発活動に勤しんでいきたいと思ひます。

## 鳥取神青五十周年

創立五十周年を迎えるにあたり、当会の歴史や、それを紡いでこられた先輩諸兄を顕彰し、この櫻を次の世代へ託すべく全会員が一丸となって取り組まなければならぬと考へました。主題は「飛翔」とし、事業の柱には「顕彰・継承・



## 第五十二回 中国地区 氏子青年神道青年 合同研修会

令和元年六月二十二日

から二十三日の二日間、三

朝町において、第五十二回  
中国地区氏子青年神道青

年合同研修会が開催され  
ました。

鳥取県が主管である今回

は、主題を「共に生きる」  
自然の恵みと祖先の恩とに  
感謝して」とし、平成二

十八年に発生した鳥取県中  
部地震から考えることや、  
神道と日本人について研修

神道と日本に触れて」という  
演題のお話を頂きました。

今回は、各講義六十分で、  
それに三つの部署を設置し  
て事業に当たりました。從

来であれば各単位会がそれ  
ぞの部署を担当するとこ  
ろですが、今回は東部・中  
部・西部の垣根をなくした  
新しい体制で臨みました。

鳥取県が主導である今回  
のひとつである、倉吉は賀  
茂神社の氏子でもあり、淨

土宗光明寺の住職でもある  
ました。



県として二つに纏まるきっかけにもなり、当会が得た物はとても大きかつたと感じております。

この五十周年事業で得た追い風で更なる「飛翔」を始めた当会の勢いは強烈な旋風を巻き起こせると確信しております。(河上統)



初日の夜、万翠楼にて懇親会が開かれました。氏青神青としては初めての、参加者全員が浴衣姿での懇親会。非常に盛り上がり、二次会の締めは、RADWIMPSの曲「HINOMARU」の大合唱でした。その曲の歌詞の通り、「さあいざゆかん守るべきものが今はある」と感じた研修会でした。

(福田 靖)



令和元年八月三十日、瀧山神社にて天下大祓が斎行されました。この天下大祓は神道青年全国協議会が主催し、天皇陛下御即位に伴う御大典が恙無く斎行されることを祈り、同日同時刻に全国の各青年会で行われるものであります。私は、天下大祓という言葉もこの度初めて耳にしましたが、そもそも大祓式で菅麻と木綿を八つに取り辟くという事も事前の勉強会まで知りませんでした。

当日は平日という事もあり、参集には限りがありましたが、正午までに設営と習礼を済ませ、お滝をいただいての禊で心を合わせて臨みました。

(蘆立信一朗)

## 天下大祓

令和元年八月三十日、瀧山神社にて天下大祓が斎行されました。この天下大祓は神道青年全国協議会が主催し、天皇陛下御即位に伴う御大典が恙無く斎行されることを祈り、同日同時刻に全国の各青年会で行われるものであります。私は、天下大祓という言葉もこの度初めて耳にしましたが、そもそも大祓式で菅麻と木綿を八つに取り辟くという事も事前の勉強会まで知りませんでした。

静寂の中、花田会長先導の下での大祓は、全国の青年神職が各地で一斉に大祓を奏上している事を改めて想起させ、湧き上がる高揚感と達成感で晴れやかな気持ちになりました。



当日は平日という事もあり、参集には限りがありましたが、正午までに設営と習礼を済ませ、お滝をいただいての禊で心を合わせて臨みました。祭を斎行することが採用されました。祭式研修で基礎作法を学び直した後の祭典ということもあり、緊張感をもつて斎行致しました。

(宇田川真信)

## 祭式研修 天長祭

令和二年二月二十三日、恒例の祭式研修にあわせて天長祭を斎行しました。祭式研修では、講師に東井神社宮司の田中倫明先生をお招きし、例年通り神殿

祭奉仕に向けての習礼を兼ねて、祭式作法の基礎をご指導頂きました。チリやホコリが少しずつ積もっていくようになります。祭式作法にもわずかずつ我流の癖がついてしまいますが、祭式作法の基本を初心に返って学び直し、更には会員相互でチェックし合うことでその癖を正すことができ、大変有意義な研修会になりました。

例年では祭式研修の後は神社廳清掃奉仕を行い解散となりますが、今回より青

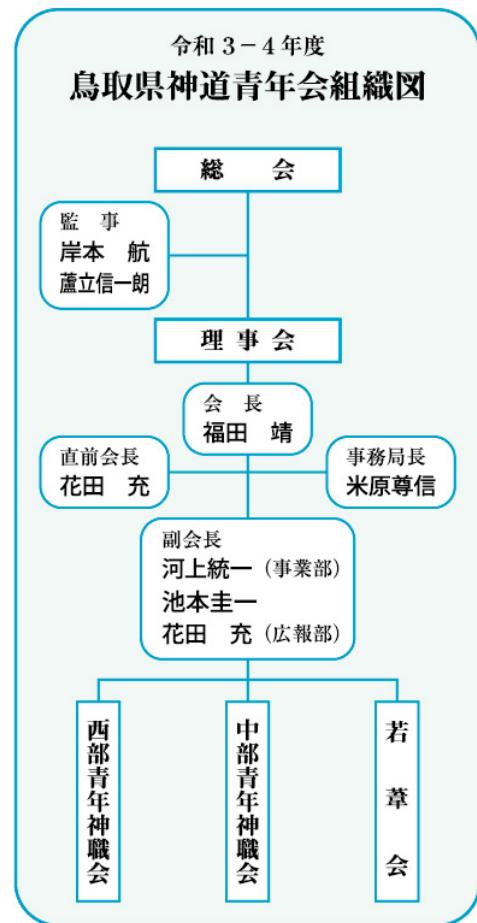
## 新型コロナウィルス 早期収束祈願祭

研修の実施日を二月二十三日に固定し、あわせて天長祭を斎行することが採用されました。祭式研修で基礎作法を学び直した後の祭典ということもあり、緊張感をもつて斎行致しました。

(宇田川真信)

祭奉仕に向けての習礼を兼ねて、祭式作法の基礎をご指導頂きました。チリやホコリが少しずつ積もっていくようになります。祭式作法にもわずかずつ我流の癖がついてしまいますが、祭式作法の基本を初心に返って学び直し、更には会員相互でチェックし合うことでその癖を正すことができ、大変有意義な研修会になりました。

例年では祭式研修の後は神青協の発案によるもので、当日は全国の青年神職が各いて新型コロナウィルス感染症流行疫病早期終息祈願祭を斎行しました。これは祭を斎行しました。これは行いました。鳥取県では宇倍神社、倭文神社など多く社頭にて一斉に祭典を執り



一體からご注文を受け付けております。

(後藤裕里香)

した。  
例年であれば春祭で賑わう時期ですが、昨年は一般の参列をご遠慮いたしましたが、今年は一般の参列をご遠慮いたく場面も多かったように思いました。今回の「一斉祈願祭」も各神社で見ればわざか数名の奉仕だったかも知れません。けれども時を同じくして、数多くの全国の同志が祈りを捧げていたのです。「リモート(遠隔)」が増えた情勢下で、場所は違え

ども心を二つに祈りを捧げられた事を大変意義深く思いました。(小田成範)



(小田成範)

鳥取県神道青年会の事業として鎮物の頒布を行っております。

## 鎮物の頒布



一體 500円

急な地鎮祭が入り早急に鎮物が必要な時や、まとまつた数でしか業者に注文できない事に悩まれている方は是非当会にご用命下さい。

各地域の担当者がそれぞれ鎮物を保管しておりますので、ご入り用の際はお近くの担当者までご連絡下さい。

まとまつた数でのご注文

もお受けしますが、五十体以上の場合は一週間前までにご連絡いただきますようお願い致します。

## 編集後記

担当連絡先

東部担当 河上統一  
(白兎神社)  
0857-59-0047

中部担当 福田 靖  
(照國神社)  
0858-52-3015

西部担当 門脇聖文  
(日御崎神社)  
0859-45-0128

災いの中で、人とのかかわりが減少し、生活にも支障をきたし、私たちの周りには閉塞感や疑念が渦巻いています。コロナ禍で何もできなくなる、「今だからこそ私たちにできることがある、すべきことがある」のではないでしょう。仲間達と次へ、前へ進んで行きましたと切に思います。